伊勢友情
発行所・編集
三重県中勢防衛協会
TEL(059)228-9141
印刷　㈲ミフジ印刷

三重県中勢防衛協会では会員を募集しています。
（申込及びお問い合せ先）
〒514-0033
津市丸之内29-14
（津商工会議所内）
TEL〈059〉228-9141

巳(実)りのある一年に

令和7年久居駐屯地訓練始め

久居駐屯地（司令・金子1佐）は、令和7年1月10日（金）に所属する部隊毎に訓練始めを実施した。

第33普通科連隊（連隊長・金子1佐）は、本部庁舎前において各中隊対抗方式による綱引きを実施、ヘビに見立てた綱を各中隊が取り合うように全力で引っ張り、中隊の底力を競い合った。結果は重迫撃砲中隊が優勝。

また、第2普通科直接支援中隊（中隊長・岡澤1尉）は、久居訓練場において車両の操縦訓練を、第337会計隊（会計隊長・藤田1尉）は400mトラックにおいて1600mリレーを実施した。

こうして久居駐屯地の各部隊は、巳（実）りのある一年にすることを誓い、2025年をスタートさせた。

連隊本部も全力で綱を引く

寒空の下での訓練始め

連隊長から優勝賞品を受け取る隊員

中隊長を筆頭に綱を引っ張る重迫撃砲中隊

勝ちにこだわった射撃

令和6年度分隊射撃競技会

33普連は、令和6年12月2日(月)及び3日(火)に久居射場において令和6年度分隊射撃競技会を実施した。

この競技会は、分隊射撃を実施して、分隊以下の戦闘射撃能力の向上とともに中隊の団結の強化及び隊員の士気の高揚を図ることを目的に行われた。この際、中隊の適切な訓練管理のもと、分隊長が自ら考えて実施する練成訓練の実施及び師団射撃競技会へ向けた射撃指揮・練度の向上が重視された。

競技会に先立ち、11月29日（金）に駐屯地本部庁舎前において開会式が実施され、本部管理中隊・永吉3曹、第1中隊・田中1士、第2中隊・本田士長、第3中隊・高須士長及び第4中隊・宮本1士が力強く選手宣誓を行った。また統裁官（連隊長）は、実施部隊に対して「勝ちにこだわれ」と要望し、令和6年度分隊射撃競技会は幕を開けた。

競技会は、各中隊1コ分隊9名編成で競技を行い、基本射撃場において、立姿依託射撃による目標変換及び戦闘照準射撃を可能にする280m地域に創意工夫して構築した射座から280m、200m及び100m先の的に対してそれぞれ射撃を実施した。280m的に対しては2コの的に対して左右の目標変換射撃を実施、200m及び100m的は、ランダムに現出するそれぞれの的を目標変換及び戦闘照準を駆使して射撃を実施した。なお、狙撃手は280m的に張り付けたMOA（ミニット・オブ・アングル）※的に対しての射撃を実施した。

小銃手と機関銃手は日頃の射撃予習や実射訓練の練成成果を発揮して射撃を実施、狙撃手においては観測手との連携をとりながら集中して引き金を引いた。

また、2日には大鷹会副会長・廣田氏をはじめとする5名の方々が競技会の見学に来られ、選手達を激励された。

大激戦となった競技会であったが、見事第3中隊第3分隊が優勝を勝ち取った。

統裁官は閉会式において「連隊の射撃競技会はこれで終了となるが、まだ師団の射撃競技会が控えている。連隊が一丸となって師団射撃競技会優勝を勝ち取りにいこう。」（要旨）と述べ、令和6年度分隊射撃競技会は幕を閉じた。

※射撃において用いられる精度の単位。1MOAは「100ヤード先において1インチ」を意味し、銃器の命中精度を数値で示す際や照準器の調整を行う際に用いられる。

訓練始めを終えた会計隊

見学に来られた来賓の方々

分隊長を先頭に射座へ前進する選手達

小銃射撃

分隊射撃競技会優勝　第3中隊

優勝分隊長として表彰を受ける第3中隊　埜川2曹

集中して引き金を引く狙撃手

機関銃射撃

久居駐屯地ホームページ　インスタグラム　X　YouTube

81㎜迫撃砲競技会 第4中隊優勝！

令和6年度81㎜迫撃砲競技会

33普連は、12月中旬に、東富士演習場において、令和6年度連隊81㎜迫撃砲競技会を実施した。

本競技会の目的は、81㎜迫撃砲の射撃の精度及び速度の進歩向上を促すとともに、年度末に実施される師団射撃競技会優勝のための資の獲得、あわせて部隊の団結・士気の高揚を目的として行われた。

東富士演習場の天候は、晴天に恵まれたものの最高気温8度、最低気温マイナス5度と演習場全域を冬将軍が襲った。射撃に参加した隊員たちは白い息を吐きながらも闘志を燃やし、寒さに負けず凛と立ちながら射撃目標を見る勇ましい姿があった。

競技が始まると選手たちは目の色を変え、白熱した雰囲気の下、一丸となり、「この一発で敵を撃破させる。」といった気迫を全中隊から感じた。

結果、今年度は第4中隊が優勝の栄冠を勝ち取った。おめでとう第4中隊。そして3月の師団競技会でも、ぜひ「優勝」の栄冠を勝ち取ってほしい。

優勝狙むぞ！

弾着を観測する2中隊の前進観測班

剛腕分隊長　八重尾3曹

陣地進入はRTA！

轟音とともに発射した砲弾

発射まで3…2…1…撃て！

半装填よし！！

速やかに陣地変換

鋭い眼光の4中隊の前進観測手

爆炎の花が開花

いざ！久居の大空へ！

令和6年度航空機部外者体験搭乗

久居駐屯地は、12月7日（土）に駐屯地及び久居訓練場において、令和6年度航空機部外者体験搭乗を実施した。

この体験搭乗は防衛・駐屯地モニター及び駐屯地協力者合わせて29名を招き、陸上自衛隊及び久居駐屯地への理解促進及び防衛基盤の育成を図るとともに、各訓練場の安定使用に寄与することを目的に実施された。

当日は12月にもかかわらず穏やかな冬晴れとなり、参加者は駐屯地に到着後、第10飛行隊の隊員による安全教育、搭乗するヘリコプター（UH-1J）及び飛行経路の説明を受けた後、訓練場へ移動してヘリコプターへ搭乗し、1グループ約15分の体験搭乗をおこなった。

搭乗を待つ参加者は、駐屯地内で装備品や広報館を見学し、フライトを待つ間も終始楽しむ様子が伺えた。

フライトの順番が来るとヘリに乗り込み、離陸と同時に窓に顔を寄せ、上空からの伊勢平野やミニチュアのように見える町並み、また初めて上空から眺める三重の絶景に目を奪われていた。

搭乗終了後には、ヘリの前での記念撮影や第10飛行隊の隊員達に「綺麗な景色が見えました。」「ありがとうございました！」など声をかけ、参加者は満足した様子で駐屯地を後にした。

颯爽とヘリへ乗り込む搭乗者

第10飛行隊員による安全教育

搭乗記念にハイチーズ♪

遺志を受け継ぎ、国民の負託に応える

令和6年度久居駐屯地殉職隊員追悼式

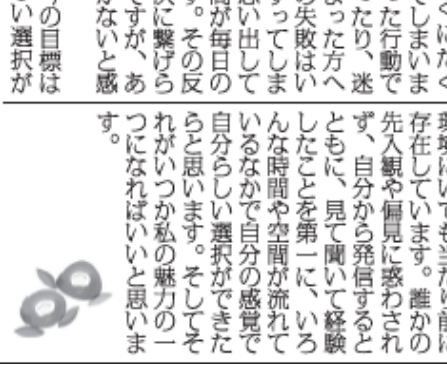
久居駐屯地は、11月20日（水）令和6年度久居駐屯地殉職隊員追悼式を執り行った。

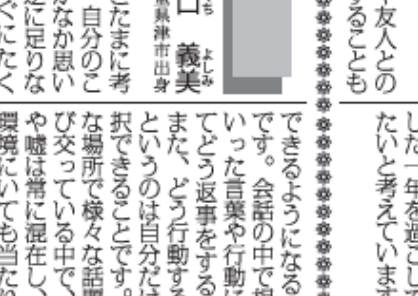
三重県隊友会会長・三石氏をはじめ各役員のほか、駐屯地司令以下、駐屯地所在部隊長等が参列した。

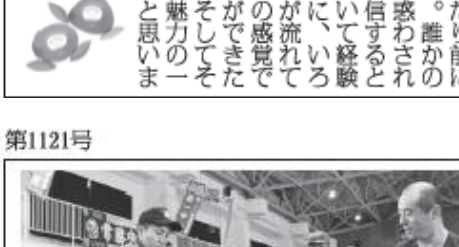
追悼式は、駐屯地殉職隊員の御霊（8柱）を弔い追悼の意を表すとともに、現職隊員に対しその意義を認識させることを目的としている。

司令は追悼の辞において「私どもは殉職された方々の尊いご遺志を受け継ぎ将来に亘り国家防衛という崇高な使命のもとあらゆる事態への即応態勢を維持し、事態が発生した際には危険を顧みず国民の負託に応えられるよう精進することを久居駐屯地の隊員を代表してここにお誓い申し上げます。」（要旨）と述べた。

統いて献花、儀じょう隊による弔銃、参列者全員による拝礼等、粛々と追悼式は執り行われた。


献花する隊友会会長　三石氏


追悼の辞を述べる駐屯地司令


ラッパ隊による追悼の譜

御霊に敬意を捧げる

久居駐屯地ホームページ　インスタグラム　X　YouTube

VOICE・VOICE

年女の抱負

本部管理中隊 士長　漁﨑　美紅（りょうざき　みく）　和歌山県田辺市出身

私は、和歌山県田辺市ミカンの国で育ちました。24歳の年女ということで、自分の中で二つ抱負があります。

一つ目は、「体調管理」です。私は、20歳のときから腎臓が悪くなってしまい、今でも治療を継続しています。病気になってしまった分、出来る仕事も限られているため、補給小隊の一員としてみんなと同じ訓練が出来なくなってしまいました。生活面や食事面でも制限されることが多く、はじめはとても苦しくてマイナスなことばかり考えていました。そんなとき、家族や友人・職場の方々に支えてもらい、前を向くことができ、今では一度きりの人生と思い毎日を楽しく過ごすことが出来ています。これからも辛い治療は沢山あると思いますが、周りの人達の支えのおかげで今、私らしくいられるという感謝の気持ちを忘れず、頑張っていきたいと思います。

二つ目は、「一科勤務に馴染む。」ことです。私は、病気のこともあり、現在は連隊本部第一科で勤務しています。仕事内容は庶務業務の支援や、連隊長伝令の支援をしています。今までしてきた補給小隊の仕事内容とは違い、覚えることも多く、正直悩むこともあり大変ですが、周りの人の声掛けや気配りのおかげで仕事にも慣れてくることができ、この仕事はとてもやり甲斐のある素敵な仕事だと感じています。

私の長所は、明るく誰とでもすぐに打ち解ける所だと思っており、その長所を活かして困っている人がいたら率先して声をかけ、臨機応変に笑顔で対応することを心掛け、さらに進化できるよう日々仕事に専念していきたいです。

初めての訓練・業務に果敢に挑戦

第4中隊 3曹　石橋　寛己（いしばし　ひろき）　奈良県桜井市出身

私は平成25年から久居駐屯地で勤務しており、部隊では対戦車小隊の操作手をしています。部隊の訓練は新しい要領を取り入れたものが多く、89式小銃や対戦車誘導弾を使った射撃訓練や、三重県外の様々な訓練場へも行く機会があり、充実した日々を送っています。

係業務においては、初めての誘導武器係に上番し、先輩の指導をいただきながら業務を学んでいるところであり、器材の管理や点検を任せられ、責任とやりがいを感じています。しかし、係に上番して初めて知る器材の名称や管理の仕方など学ぶことが多く、手探りな状態のところもあります。検査や点検に向けた準備や、書類の整理にしても係の先輩や同僚に質問し、協力してもらうことが多いです。なので早く係業務の内容を把握し、自ら考え主導的に行動していけるようになりたいと思っています。

その他の自衛隊の教育では昨年、陸曹上級英語課程を卒業し、英語だけでなく、軍事やその国の文化等の幅広い知識を学ぶ必要性を感じることができました。まだまだ語学要員として知識、経験不足を痛感していますが、今後はたくさん通訳の現場を経験し、英語のスキルを向上させ、諸外国との共同訓練への参加や国際貢献任務にも参加し、語学要員として活躍できるようになりたいです。

今年の目標は訓練や係業務における学びと実践を通し、業務内容の習熟や語学スキルのアップを目指し、より主体的に任務を遂行できるよう成長することです。

年男の抱負

第3中隊 3曹　藤原　陽平（ふじわら　ようへい）　三重県伊賀市出身

新年を迎えると、特に年男にとっては特別な意味を持つものです。私も年男として新たなスタートを切ることになります。この一年をどう過ごすか、どのように成長していくか以下のように抱負をまとめました。

第一に、自己成長を目指したいと思います。これまでの経験から、学び続けることの大切さを痛感しています。今年は専門の知識のみならず、幅広い知見を広げ、キャリアを活かせるようにと考えています。

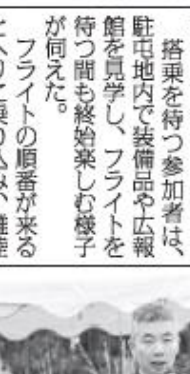
次に、健康管理にも力を入れたいです。年齢を重ねるごとに、体調の維持が重要になってきます。バランスの取れた食生活を心掛け、健康な状態を保つことが目標です。

また、家族や友人との関係を大切にすることも忘れないようにしたいです。忙しい日常に追われがちですが、時間を作って大切な人達と過ごす時間を増やすことが重要です。感謝の気持ちを表し、コミュニケーションを深め、より豊かな人間関係を築いていこうと思います。

最後に、ポジティブな思考を持ち続けることです。困難な状況に直面することもあると思いますが、ネガティブに捉えず、前向きに解決策を見つける姿勢を忘れずにいたいです。

この一年、年男としての抱負を胸に、自分自身の成長、健康、家族との時間、ポジティブな思考を大切にしながら、充実した一年を過ごしていきたいと考えています。

年女としての抱負



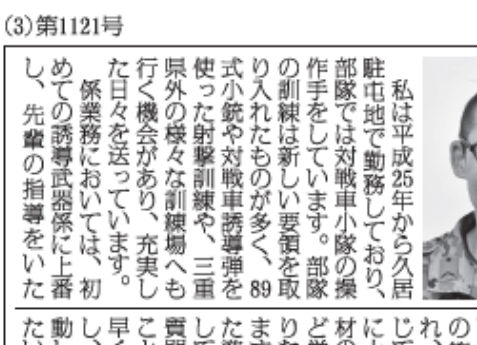
重迫撃砲中隊 士長　橋口　義美（はしぐち　よしみ）　三重県津市出身

年女ということにあまりピンときていませんが、そんな私の今の所感として、日々の気づきや私なりに目指していることを少し書きたいと思います。

入隊してから多くの方と、多くの時間を共に過ごすようになりました。そのおかげで、人それぞれの色や個性があることを強く感じるようになりました。誰しもその人にしかない魅力があると感じており、「自分の魅力は何だろう」とたまに考えてみますが、自分のことになるとなかなか思いつきません。逆に足りないところはすぐにたくさん思いついてしまいます。私の間違った行動で傷つけてしまったり、迷惑をかけてしまった方への反省や過去の失敗はいつまでも引きずってしまうので、ふと思い出しては反省する時間が毎日のようにあります。その反省を活かして次に繋げられたらいいのですが、あまり上手くいかないと感じます。

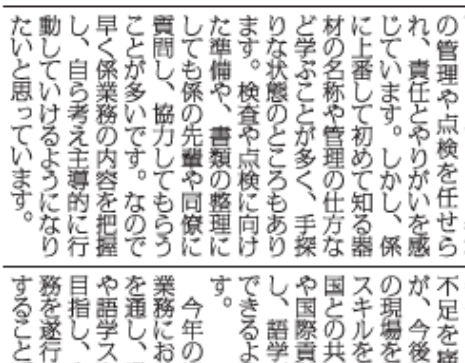
そんな私の今の目標は「常に自分らしい選択ができるようになること」です。会話の中で相手がいった言葉や行動に対してどう返事をするのか。また、どう行動するのかというのは自分だけが選択できることです。様々な場所で様々な話題が飛び交っている中で、真実や嘘は常に混在し、どの環境にいても当たり前に存在しています。誰かの先入観や偏見に惑わされず、自分から発信するとともに、見て聞いて経験したことを第一に、いろんな時間や空間が流れているなかで自分の感覚で自分らしい選択ができたらと思います。そしてそれがいつか私の魅力の一つになればいいと思います。

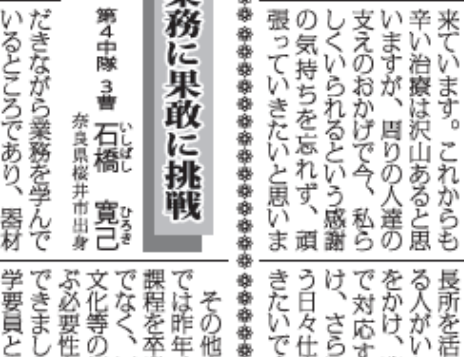
令和6年 駐屯地年末行事フォトギャラリー

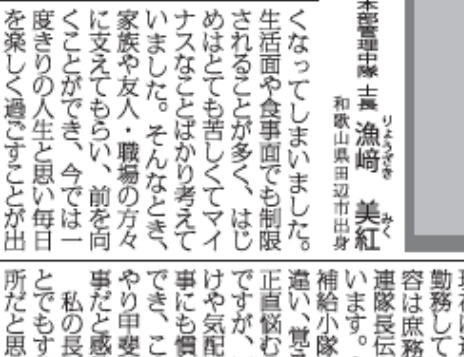

餅のように粘り強く！！（第2中隊）

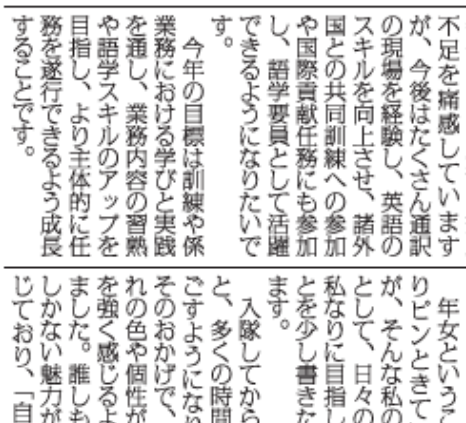
よいしょー！よいしょ！（第1中隊）

笑顔飛び交う餅つき（本部管理中隊）


隠し味はチームワーク！（重迫撃砲中隊）


あんこ餅かな？きなこ餅かな？（第4中隊）


第3中隊の大宴会


家族とのひととき

各協力会の方々も参加

力強く餅をつく隊員（駐屯地諸隊）

昇任者紹介及び優秀隊員

▼3等陸佐に
本中　本江　弘明
1中　千葉　浩雅

▼1等陸尉に
3中　細江　哲平
警務隊　牧平　裕貴

▼2等陸尉に
3中　片桐　真

▼陸曹長に
本中　堀　幸司
本中　田端　久人
1中　北畠　佑哉

▼1等陸曹に
本中　在間比佐衣
3中　八木　乙介
3中　村井　謙太
3中　横矢　幸大
2直支　中森　崇
2直支　大畑　栄次

▼2曹陸曹に
本中　中世古　直
本中　前田　洋稔
本中　伊藤　夏輝
本中　栗山　平
2中　佐々木泰輔
2中　奥山　健斗
3中　水谷　一暁
4中　坪井　卓也
重中　脇門　正悠
重中　川面　聖司
業務隊　山口　順也

▼3等陸曹に
本中　伴野　俊一
本中　小西　里実
2中　中　鷹也
2中　上國　由
3中　田中　元瑛
重中　出口　祥吾

▼連隊臨時表彰式
▽第4級賞詞（職務遂行による功績）
重中　2曹　坂本　啓祐

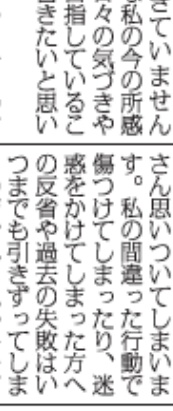
▼連隊後期情報管理検査に関する表彰
▽優秀中隊
第3中隊
▽優秀隊員
3中　3曹　勝見　柾希
重中　3曹　伊藤　壮史

▼第13期初級陸曹特技課程「狙撃A」指導官
▽富士学校普通科部教育課長褒賞状
3中　1曹　横矢　幸大

▼12月喫食率優秀部隊
第1位
第3中隊
第2位
重迫撃砲中隊
第3位
第4中隊

▼服務意識向上施策に伴う服務優秀隊員
本中　1士　晴地れいな
1中　士長　栗原　昂希
2中　士長　廣田　志鵬
3中　士長　寺前　光紀
4中　士長　藤井　斗綺
重中　1士　旗　蓮斗

定年退官



▽松永　正義　曹長（前　本部管理中隊）
1月17日付
定年後
セコムトセック株式会社
長い間の勤務、お疲れ様でした。
これからも健康に気を付けて頑張ってください。

久居駐屯地ホームページ　インスタグラム　X　YouTube